

2025年5月30日

仙台市沿岸部の車販売店が災害時の給電拠点に！ 自動車バッテリーを使った電源供給の実験を実施します

災害時に停電した際、自動車バッテリーから電気を確保して地域住民に無償提供する給電拠点(※電源ドナー)に、仙台市宮城野区にある中古車販売店が新たに参加することになりました。

エナジーウィズ株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長:吉田誠人)は自動車バッテリーのメーカーとして、

6月6日、この販売店で株式会社イーコース(東京都中央区、代表:菊竹玉記)が主催する電源供給の公開実験に参加し、実際に自動車バッテリーからどれだけの電気が供給できるか公開実験を行います。

電源ドナー”災害時に役立つ給電場所マップ



宮城県内の給電拠点の一例 ※電源ドナーWEBサイトより



自動車バッテリー(エンジン始動用 12V)

※電源ドナー 株式会社イーコースが提供する、災害時に地域住民が給電できる場所をスマホなどから地図で確認できる無料サービス。停電して電気が使えない際、掲載されている給電拠点(通常時は物流拠点など)は一般開放されるため、住民は無料で充電などができる。現在の給電拠点は宮城県に7か所、愛知県に1か所の計8か所。医療的ケアが必要な方への電源供給も期待されています。

今回新たな拠点として登録された中古車販売店、タックス宮城野(仙台市宮城野区)では、災害時、販売している車のバッテリーから電源を供給します。当日行う公開実験では、自動車のエンジン始動用バッテリーから実際にどれだけの電気が供給できるのか、また非常用電源として取り扱う際の注意点を地域住民の方々に知ってもらうため、エナジーウィズが給電のデモンストレーションを行い、電力量を測定します。

地元の方に電源供給拠点の存在を知りたいので、ぜひ取材に来ていただけますと幸いです。

日時：2025年6月6日(金) 10時30分～11時30分 (開場 10時15分)

場所：タックス宮城野 軽スマイル館 仙台市宮城野区高砂1-31-2

エナジーウィズ株式会社は2021年12月、昭和电工マテリアルズ株式会社(現株式会社レゾナック)の蓄電デバイス・システム事業部門を前身に蓄電池専業メーカーとして事業を開始しました。

当社はこれまで100年以上にわたり鉛蓄電池技術を用いて自動車用バッテリー、産業用鉛蓄電池を製造・販売。また鉛蓄電池に限らず、蓄電池の状態を検知する監視装置、緊急時に蓄電池から電力を供給する電源システムなどもラインナップとして事業を展開。今後は蓄電池専業メーカーから「提案型蓄電ソリューション企業」への進化を目指しています。

<https://www.energy-with.com/>

リリースに関するお問合せ

エナジーウィズ株式会社

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3 AKSビル 問い合わせ先：pr@energy-with.com